

平成 19 年 3 月 15 日

定期検査中の 1 号機における原子炉自動スクラム（B 系）警報の
発生に関する調査結果について

定期検査中の 1 号機において、平成 19 年 2 月 5 日、「原子炉自動スクラム（B 系）*¹」の警報が発生いたしました。

調査の結果、原子炉保護系*²の計器点検の準備作業として、ジャンパー線*³をジャンパー線受け台に取り付ける作業を実施しておりましたが、すでに他の端子部（「格納容器圧力高（B 系）」、以下「当該端子部」）に接続されていたジャンパー線に触れた際に接触不良が生じて一時的に電気回路が切れ、当該警報が発生したことがわかりました。

今後、接触不良が生じた原因について調査いたします。

本事象による外部への放射能の影響はありません。

（[平成 19 年 2 月 6 日お知らせ済み](#)）

その後、当該ジャンパー線受け台を調査したところ、差し込み口の金属面に荒れが確認され、他の端子部より摩擦抵抗が大きく差し込みにくい状態となっていたことから、ジャンパー線が外れやすい状態となっていることがわかりました。

そのため、当該端子部近傍におけるジャンパー線の取り付け作業において、当該端子部のジャンパー線に触れた際に、接触不良が生じて一時的に電気回路が切れたものです。

対策として、当該端子部のジャンパー線受け台を新品と交換いたしました。また、他のジャンパー線取り付け箇所差し込み状態に問題のないことを確認いたしました。今後、ジャンパー線が差し込みにくい状態が確認された場合は、新品と交換いたします。

また、制御盤にジャンパー線取り付け作業時の注意事項を記載した表示札を設置し、注意喚起を実施いたします。

以 上

* 1 原子炉自動スクラム（B 系）

原子炉を緊急停止するための信号が片系統だけ発生した状態であり、制御棒は動作しない。スクラム信号は A・B 両系が同時に発生することで制御棒を全挿入し、原子炉を緊急停止させる。

* 2 原子炉保護系

原子炉の安全性を損なうおそれのある事象が生じた場合、あるいは予想される場合、原子炉をすみやかに緊急停止（スクラム）させる装置。

* 3 ジャンパー線

電気回路の端子間を一時的につなぐ線。